



## 情報セキュリティの普及啓発 に関する議論の進め方(案)

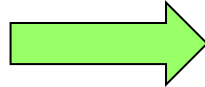
## 情報セキュリティ普及・啓発プログラムの構成

普及啓発の対象ごとの現状と課題

例：高齢者→分かりやすく伝えるための工夫が必要  
企業→経営者が率先して対策に取り組む必要



目標：「情報セキュリティ文化」の定着



手段：「具体的な取組」として約20の施策を列挙

総合的・集中的な普及・啓発施策の推進

- ・「情報セキュリティ月間」の充実
- ・「情報セキュリティ月間」10月開催の検討

教育の充実及び学習機会の提供

- ・情報セキュリティに関する教育の充実
- ・情報セキュリティに関する教育用コンテンツの充実

普及・啓発を促進するためのインセンティブ措置

- ・表彰制度、情報セキュリティ・コンテスト等の活用

国民に対する普及・啓発施策の推進

- ・「国民を守る情報セキュリティサイト」の充実
  - ・自己診断チェックリストの作成
  - ・高齢者向け資料の作成
- ・情報セキュリティ無関心層等に対する普及・啓発
  - ・情報セキュリティ相談窓口の充実
- ・情報セキュリティに関する事故等の事例の収集・共有化

企業に対する普及・啓発の推進

- ・企業のトップの意識改革
- ・中小企業への対策

国際連携の強化

- ・日・ASEAN関係の連携強化
- ・APECとの連携強化
- ・欧米諸国との連携強化
- ・普及・啓発ポータルサイト(英語版)の充実

サイバー犯罪抑止のための広報啓発の推進

- ・情報セキュリティに関する講習の実施
- ・サイバー犯罪の被害防止対策の推進
- ・サイバーボランティア育成の推進

## 議論すべき点

○ 「情報セキュリティ普及・啓発プログラム」に盛り込まれた具体的な取組の内容や実施方法等について、普及啓発の対象ごとの課題の克服に向けた効果的な取組とするためには、どのようなことに留意すればよいか。特に、官民連携による取組の強化という観点では、どのような実施方法等が考えられるか。

○ より適切な取組として、どのようなものが考えられるか。

## 背景・課題

- 情報セキュリティの確保に関して、約8割の国民や企業が不安
- 自ら対策を講じていても、日本人は情報セキュリティに対して漠然とした不安を抱えている(国際比較)

### 利用環境の変化

- ・スマートフォン等モバイル環境の高度化
- ・SNS等新たなメディアの台頭
- ・クラウドコンピューティングの利用拡大

### 利用者層の変化

- ・高齢者層のインターネット利用の増加
- ・SNS等新たなサービスを活用する若年層の増加

### 情報セキュリティ脅威の高度化・多様化

- ・悪質なウイルスやボットの多目的化
- ・従来では考えられなかった攻撃の出現

## 基本的な考え方

### 情報セキュリティ文化の定着

情報セキュリティに係る取組を、特殊なものとしてではなく、一般常識、マナー、あるいは社会的習慣として広く国民全体に定着させるため、官民連携・国際連携を強化しつつ、無関心層への対策や高齢者や若年層等利用主体の属性に着目したきめ細やかな対策を推進するとともに、年間を通じた継続的な取組の定着化を図る。

※)「情報セキュリティ文化」6原則:「認識」、「責任」、「対応」、「協調」、「倫理」、「再評価」をいう。

## 具体的な取組

### 総合的・集中的な普及・啓発施策の推進

- ・「情報セキュリティ月間」の充実
- ・「情報セキュリティ月間」10月開催の検討

### 教育の充実及び学習機会の提供

- ・情報セキュリティに関する教育の充実
- ・情報セキュリティに関する教育用コンテンツの充実

### 普及・啓発を促進するためのインセンティブ措置

- ・表彰制度、情報セキュリティ・コンテスト等の活用

### 国民に対する普及・啓発施策の推進

- ・「国民を守る情報セキュリティサイト」の充実
- ・自己診断チェックリスト、高齢者向け資料の作成
- ・情報セキュリティ無関心層等に対する普及・啓発
- ・情報セキュリティ相談窓口の充実
- ・情報セキュリティに関する事故等の事例の収集・共有化

### 企業に対する普及・啓発の推進

- ・企業のトップの意識改革
- ・中小企業への対策

### 国際連携の強化

- ・日・ASEAN関係の連携強化
- ・APECとの連携強化
- ・欧米諸国との連携強化
- ・普及・啓発ポータルサイト(英語版)の充実

### サイバー犯罪抑止のための広報啓発の推進

- ・情報セキュリティに関する講習の実施
- ・サイバー犯罪の被害防止対策の推進
- ・サイバーボランティア育成の推進



## 外縁

### ○ 「情報セキュリティ普及・啓発プログラム」

→ このプログラムで述べられている対象ごとの留意事項や取組を外縁として、その内容を深化・補足。

## 目的

- 「情報セキュリティ普及・啓発プログラム」に盛り込まれた具体的な取組について、実施に当たっての具体的留意事項を抽出。
- 普及啓発の対象ごとに、「情報セキュリティ普及・啓発プログラム」上不足している事項を指摘。
- 抽出・指摘した事項については、年度計画（情報セキュリティ20××）や具体的な取組に反映。

## 観点

- 「情報セキュリティ普及・啓発プログラム」において整理されている普及啓発対象（無関心層、高齢者、教員、児童、家庭、企業経営者・従業員）の特性や課題（5頁以降参照）を踏まえ、これらの者に普及啓発を行うに当たっての具体的な留意事項等を提示。

## 方法・内容

- **WG**各回ごとに、「情報セキュリティ普及・啓発プログラム」において整理されている普及啓発対象の中からいくつかをピックアップし、その対象について議論。

### 【案】

- ① 無関心層（初心者含む）・高齢者
  - ② 企業経営者・従業員
  - ③ 教員・児童・家庭
- 議論する内容は、主に次の事項。
    - ・ 対象に重点的に訴求すべき事項
    - ・ 対象に効率的にリーチする方法・手段
    - ・ リーチの際対象に伝わりやすくするための題材
- 等

## 無関心層※

※ 情報セキュリティについてのリテラシーや関心が低い層をいう。

- 情報セキュリティ対策への関心を高めるための取組として、どのようなものが考えられるか。  
ex) 入口としてのITサービスの仕組みを知る機会の提供、初心者向け講座の充実
- 情報セキュリティに関する相談窓口をより利用しやすいものにするためには、どのようなことに留意したらよいか。  
ex) 窓口間の連携の強化、Q & Aの充実
- ウィルス感染等により知らない間に他者のウィルス感染等に加担してしまう可能性があることの理解を促進するためには、どのような内容・方法で普及啓発を行うべきか。  
ex) 事故・トラブル事例を基にしたコンテンツの活用

## 高齢者

- 平易な言葉で分かりやすく情報セキュリティ対策に関する情報を提供するための取組として、どのようなものが考えられるか。  
ex) 高齢者向け資料の作成、シニアボランティアの活用
- 高齢者向け資料等の作成に当たって、具体的にどのようなことに留意したらよいか。  
ex) 用語の解説の付記、ビジュアル面での見やすさの確保
- 高齢者の生活様式に則した普及啓発を行うためには、どのようなことに留意したらよいか。  
ex) 出張形式の講演の実施、バリアフリー施設の活用

## 教員

- 児童・生徒に教える側として十分な情報セキュリティに関する知識を向上させるための取組として、どのようなものが考えられるか。  
ex) 教員向けセミナー、研修の実施
- 教育機関全体として情報セキュリティ対策への関心を高めるための取組として、どのようなものが考えられるか。  
ex) 学校長等に対する対策の重要性の訴求

## 児童・生徒、家庭

- 発達段階に応じた適切な教育を行うためには、どのようなことに留意したらよいか。  
ex) 発達段階ごとの資料の作成、体験型教育の実施
- 児童・生徒向けの教育用コンテンツの作成に当たって、具体的にどのようなことに留意したらよいか。  
ex) 身近なシーンを題材とする、映像・動画の活用
- 家庭における情報セキュリティ対策に関する教育を効果的に行うための取組として、どのようなことが考えられるか。  
ex) 学校による家庭への働きかけ、保護者を対象とした講演の実施

## 企業

- 企業経営者の情報セキュリティ対策に関するモチベーションを高めるための取組として、どのようなものが考えられるか。  
ex) 企業経営者向けの講演の実施、企業経営者同士が情報交換できる場の提供
- 企業に働きかけるに当たって、具体的にどのようなことに留意したらよいか。  
ex) 情報セキュリティ対策と利益との関係の説明
- 派遣社員やアルバイト従業員等まで情報セキュリティ対策について周知徹底するための取組として、どのようなものが考えられるか。特に、人的資源の少ない企業についてはどうか。  
ex) 従業員向け教材の作成・配布、中小企業向けセミナーの充実